

令和6年度鹿児島学力・学習状況調査の結果について

令和7年1月14日～24日の期間に実施された「鹿児島学力・学習状況調査」の結果をお知らせいたします。この調査は、鹿児島県が全国に先駆けて、C B T方式（コンピューター・ベースド・テスト＝紙と鉛筆を使用せず、1人1台端末を使用して、テストを行う方式）で実施されました。

本市小学校は、4教科とも県平均を下回りましたが、その差はわずかで、年々縮まりつつあります。本市中学校は、1年の理科、2年の国語、数学、理科、英語が上回る結果となりましたが、両学年とも社会で課題がみられました。

1 令和6年度鹿児島学力・学習状況調査の県及び本市の平均正答率

は県平均以上

		国語	社会	算数	理科	英語
小5	南九州市	63.4	60.0	65.1	64.6	
	鹿児島県	64.6	61.8	65.6	65.0	
中1	南九州市	60.2	45.8	47.3	58.1	55.2
	鹿児島県	62.9	52.4	48.8	57.9	58.8
中2	南九州市	66.3	41.5	41.1	54.1	53.8
	鹿児島県	66.3	47.0	40.9	52.4	52.8

参考 令和5年度鹿児島学習定着度調査の結果

		国語	社会	算数	理科	英語
小5	南九州市	67.0	61.4	75.1	70.9	
	鹿児島県	68.5	65.3	74.6	75.4	
中1	南九州市	75.9	56.8	73.1	71.5	78.6
	鹿児島県	75.9	54.4	74.3	66.3	77.0
中2	南九州市	68.0	64.6	70.4	70.9	68.5
	鹿児島県	65.6	62.3	68.8	66.9	71.4

2 これからも学力向上が図られるために

各学校では、校内における研究授業や研究公開などを通して、子供たちの「分かった」「できた」があふれる授業作りに努めています。また、今、求められる学力を見据えながら、1人1台端末を使って、思考力・判断力・表現力を高めています。

さらに、長文を読み取る問題や思考力を問う演習問題に継続的に取り組んでいます。

今後も引き続き、教育委員会と学校が連携しながら学力向上に取り組んでまいります。